

## 第25代会長 後藤 軍治



私が入会した1978年には80人近い会員数で入会式、例会が進む内に「こりゃ新興宗教に入ってしまった」と思いましたが入会してみると大違いで素晴らしい仲間がいつべんに出来!大幸せでした。又その時に入会した人は7人で若林さんもその1人でしたが、現在は鈴木道夫さんと私の2人に成ってしまいました…35年経ったな〜とつくづく感じます。

クラブの親は室伏勲さんと中野史朗さんの2人親です。その当時クラブ親がIBCの外国へ行く時はその子は必ず随行する事と騙され、台湾と韓国へ楽しく随行し、その後は自主的に行った記憶?が有ります…皆さんも感じると思われませんが多数の仲間の中で揉まれると文字通り切磋琢磨され、人前で堂々と話が出来る様に成り他人にやさしく、他の人の気持ちを思いやる等々の人間が形成されます!もし3年以上在籍しており人格形成が出来て無いと思われる人は死んでしまいなさい!!それか私のところに来なさい…矯正委員会のメンバーは下記の通り  
札埜慶一先生、青木義美先生、池田直文先生、大川貴久先生、大澤光夫先生、八代一雄先生、室伏勲先生、内藤一郎先生、鈴木道夫先生、山田賢一先生、山田修司先生、執行人石村孝治先生、矯正は有料に成ります。

「ウソ、ですよ!名前を使わせていただいた諸兄ゴメン! 72才の世迷い言!許せ!

## 第32代会長 鈴木 道夫



1978年外川会長年度に石井信吉ysの紹介で後藤軍治・中島洋・若林・牧野明也ysらと共に入会し、岩下会長、中島修会長そして鈴木健之ysや井堀ysなど親父世代のそうそうたる当時のメンバーに「ワイズメンバーはワイキチでなければならぬ」と鍛えられました。当時私は結婚して2年目の29才、長女が生まれた年の入会でした。毎晩のように委員会があり、仕事が終わると子育てよりワイズに出かける日々で、毎晩が楽しいワイワイ談義でした。20周年時のグローリークラブ誕生後にはワイズ教師みたいな中村益三ys、一藤木ysそして森ys、山本ysなどとともにカナダ交換学生受入・台中クラブとのコメントの交換学生・YMCAキャンプなどコメントの成長とともに歩んだことを思い出します。1996年には同期では一番遅く会長を経験させていただきました。内藤ysをはじめメンバーの協力にあらためてワイズはいいなと感じた次第です。おかげさまで私はかけがえのない沢山の「友人」と出会うことができました。

熱海クラブが常に活発に事業を展開できたのは新しい発想をするメンバーがクラブに活力を与えてきた結果であったと感じております。あらためて20周年時に若返りをさせた竹内敏朗ysをはじめ歴代会長・先輩メンバー諸兄のワイズを愛する思いに感服する次第です。願わくは50周年記念式典が若いメンバーの新たな知識と経験を獲得する機会となり今後の5年10年に向かう奉仕活動の大きな力となることを期待いたします。

## 第31代会長 栗本 治郎



1979年、岩下会長年度に、一藤木さんの紹介で29歳の時入会しました。この年は、竹内敏朗ワイズが日本区理事を務め、会員数は80数名でした。

この頃の熱海クラブは、人材豊富で、ワイキチが多く、区をリードしているという気概を感じました。

特にEMCにおいては、沼津クラブを初め幾つものクラブをチャーターし、交流も盛んで、例会には他クラブの会員が大勢出席していました。

1983年に20周年記念事業として、原則50歳以上の会員とで別れ、グローリークラブをチャーターし、30名程のベテラン会員が移籍しました。

これ以降、若返った新生熱海クラブの初代会長ともいえる森会長や一藤木、中村の両長老の指導の下、良き伝統を失うことなく、現在も45名の会員数を擁し、多くの事業が活発に運営されています。

1995年には、私も会長を務めさせて頂き、京都パレスクラブとのDBC締結や、2委員会所属制などを試み充実した一年間でした。

30周年の時に、通学児童のために来宮駅前に時計塔を寄贈、40周年では新たに整備されたサンビーチに同じく時計塔を寄贈、また、記念事業として第7回東日本区大会をホストし、650名の登録を頂き大成功でした。

入会した時は軽い気持ちでしたが、夏の少年少女キャンプ等の活動を通じワイズにのめりこみ、良き先輩、仲間にも恵まれ、20周年、30周年、40周年、そして50周年と、いつの間にか長い間籍を置くことになりました…

50周年の準備の中、10月17日に西川先輩が突然世界されました。会計や登録業務などの中心になっておられたのに…ご冥福をお祈り申し上げます!!

## 第39代会長 津田 博之



歌の文句ではないけれど、月日の経つのは早いものです。ワイズに入会して33年間たいした病気もせず、ホーム例会は皆出席。40周年時にはやりての無い会長もさせられてワイズ活動はまあまあ充実していた様な気がします。これも家族の理解や協力が有ったからと感謝していますが、最近では体力の衰えと共に気力も失せて来てしまっている様なので、まずは体力作りをしなくてはと思っている昨今です。

それにしても最近感じる事は親しくなった友人達が消えて居なくなる事が多くなって来た事です。我がワイズ事務所には歴代会長達の写真が飾ってありますが、逝去されるとその年月が記入されます。その数がどんどんふえて来て寂しいかぎりですが、あの頃は楽しかったなどと思い出に耽っていると電子機器の音が「ピーピー」と、現実に戻される。嗚呼歳はとりたくないね。

2020年に東京五輪・パラリンピックが決定したがあと7年と言うと今の中高生、優秀な子だと小学生でも充分に対象になる。青少年に対するプログラムは各クラブでも沢山行っている事でしょうが、私達も体力の無い方は知恵を、体力の有る方は時間を、自分達で出来る事を喜んでやろうではありませんか。頑張りましょう!